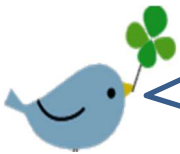


# ◆越谷市の大腸がん検診を お受けになる皆様へ◆

【この説明書をよくお読みのうえ、検診をお受けください】



越谷市では、40歳以上の方を対象に大腸がん検診として便潜血検査（検便）を実施しています。大腸がんは、わが国のがん死亡原因の上位に位置しており、初期の段階では自覚症状がほとんどありません。しかし、早期発見・早期治療を行えば、より高い確率で治すことができます。

結果については、受診した医療機関で説明を受けてください。  
(結果は郵送されません。)

## ○大腸がん検診ではどのような検査をするのか○

大腸がん検診では、便に混じった大腸からの出血を調べる「便潜血検査」いわゆる検便を行っております。便に血が混じる原因としては、がん以外にもポリープ・大腸炎・痔などの様々な疾患が考えられます。便潜血検査は自覚症状のない集団から、大腸がんの危険性がある人を絞り込む検査で、大腸がんの死亡率を減少させる十分な科学的根拠のある検査として認められています。

2日分の便を検査し、いずれか1回でも「陽性」と判定された場合は、大腸がんの可能性があるため、そのまま放置せず、早めに精密検査を受けましょう。

## ○検査結果について○

**便潜血検査が「陽性」であった場合**には、原因を明らかにするために、**必ず精密検査が必要**です。便潜血検査が陽性でも必ず大腸がんであるとは限りません。また、腸に病気があっても常に便から血液が検出されるとは限りませんので、精密検査を受けずに再度便潜血検査を受けることは適切ではありません。

**便潜血検査が「陰性」であった場合**には、今回の検診では異常なしという結果です。しかし、がんの中には急速に進行するがんもあります。早期発見のために毎年、継続して検診を受けてください。ただし、便潜血検査では、がんの場所や形によっては、がんがみつけれられない場合もあります。もし、血便・腹痛・便が細くなる・便の回数が変化したなどの症状がある場合には、医療機関を受診してご相談ください。

～裏面もご覧ください～

精密検査の方法は、**第一選択として大腸内視鏡検査**を行います。

下剤で大腸を空にした後に、肛門から内視鏡を挿入して大腸を撮影し、がんやポリープがないか調べます。必要に応じて組織を採取し悪性かどうか診断します。大腸の奥まで観察することが困難な場合もあり、その場合は他の検査方法が用いられることがあります。

- ◆精密検査は専門の医療機関であれば他市町村、他都道府県の医療機関も受診していただけます。
- ◆精密検査に関する費用は保険診療となります。
- ◆精密検査結果は、精密検査実施医療機関より越谷市健康づくり推進課及び検診実施医療機関へ報告されます。

※すべての検診にはデメリットがあり、検査では見つけにくい「がん」もありますので、すべての「がん」が大腸がん検診で見つかるわけではありません。また、「がん」でなくても「要精密検査」と判定される場合もあります。

参考文献：「大腸がん検診マニュアル」 大腸がん検診精度管理委員会  
国立がん研究センター ホームページ 参考・引用

## 大腸がん検診で要精密検査となった方は、 必ず精密検査を受けましょう！！

- 大腸がん検診(便潜血検査)の結果が「要精密検査」の場合、病気の疑いがあります。より精度が高い検査を受ける必要があります。
- 大腸がんは、進行するまでほとんど自覚症状がありません。また、早期発見・早期治療を行うことで95%以上が完治と言われています！！

### 【お問合せ】

越谷市健康づくり推進課  
(越谷市保健センター)  
越谷市東越谷10-31  
☎048-960-1100

